



思誠

学校だより
令和4年
5月2日発行
新見市立
思誠小学校
TEL(0867)
72-0041

愛児会総会 校長挨拶

皆さん、こんにちは。お忙しい中、総会にご出席くださり、ありがとうございます。
昨年は、この会も中止となり、本校に校長として赴任し、こうしてお話しできるのも初めての機会となりました。
皆様には、平素より本校教育活動に對しまして、ご理解、ご協力をいただいておりますこと、まずはじめにお礼申し上げます。
これから、コロナ感染対応、本校教育、創立百五十周年記念事業、そして最後にお願いの四項目のお話をさせていただきます。

コロナ感染対応について

先日、四年一組と二年二組の児童のコロナ陽性確認がありました。当該児童は前日登校しておりまして、二つのクラスは学級閉鎖という形になりました。四年一組は、学級閉鎖明けで一日登校したばかりでしたが、引き続きということになりました。

学級閉鎖の判断は、二日前までに遡って行っています。陽性反応が出た日の二日前に、当該児童が登校していた場合は、そのクラスが学級閉鎖となります。ですから、月曜日に発熱のため、学校を休まれ、検査を受けたら陽性だったという場合は、土日の二日間クラスの他の児童と接触をしていないため、学級閉鎖とはなりません。

しかし、検査を受けた日が日曜で、その日に陽性が確認された場合は二日前が金曜日となり、登校しておりますので、月曜日から学級閉鎖という形になります。火曜日から金曜日までの間に陽性反応が出た場合は、全て学級閉鎖となります。

ここで、ご協力いただきたいことがあります。それは、土日に陽性反応が出た場合です。本日、連休中の連絡先として、本校教頭の連絡先を記した文書を配付しております。もし、土日に陽性がわかりましたら、必ずこちらへご連絡ください。月曜日に登校した

後、学級閉鎖のお迎えをお願いすることなく、朝からお休みいただけるよう、メールにて連絡ができるからです。
ただし、連絡や課題提示のためのタブレットを、学校まで取りに来ていただくこととなりますので、ご理解ください。

また、お仕事の関係等で濃厚接触者の有無を心配される方も多いことと思います。現在、保健所では学校で陽性者が出た場合、濃厚接触者の特定はしていません。学校内では、マスク着用、換気、消毒等基本的な感染対策を行い、給食も同一方向を向いて黙食をしているため、濃厚接触にはあたらないと判断されています。ですが、濃厚接触者がいないと断言されるものではないため、メールで当該児童と濃厚接触者はいませんと報告することは、難しくなっています。従って、お子様の様子をよく見ていただき、発熱等ある際には、登校を控え、学校にご連絡いただき、病院で受診をしていただくようお願い致します。

本校教育について

皆さんの大切なお子様を預かり、6年間という長い期間、自分の力で歩む土台を築いていくことが、本校の教育目標であります。

本校教職員は、経験年数の差こそありますが、創立百五十周年を迎える歴史ある本校の教職員であることを、それぞれが自覚し、責任も感じ、子ども達やご家族の思いに寄り添えるよう、それぞれ意識してがんばっています。しかし、集団の中でも生活がすれば、友達とのトラブルに心を痛めることも、学校生活にストレスを感じることもあります。こうした照る日、曇る日を経験していく中で、一人一人着実に成長していきます。どうか今後も温かい目で、本校教育活動を支援いただきますようお願いいたします。

さて、お手元の定期総会要項には、学校経営計画書も紹介しております。その中から新たな取り組みを紹介いたします。その一つが本年から新たに行う論語教育です。論語を意図的に紹介することで、規範意

識や思いやり等の人間関係構築力の涵養をはかることを目的としています。

思誠小学校の名の由来については、折に触れお話しして参りましたが、誠は天の道なり思誠は人の道なり至誠にして動かざるもの未だこれあらざるなり、と記してある校舎正面の漢詩は、論語を説いた孔子の継承者と自ら名乗った孟子の言葉です。

誠を思う、思いやりという言葉が校名の由来になっている点も、本校は論語と深く関わりのある学校だといえます。百五十周年記念式典を十月七日に計画していますが、当日、県内、論語教育の第一人者であります森熊男先生をお招きして、講演会を開催します。皆様もふるってご参加いただけますよう、お願い致します。

百五十周年記念事業について

コロナ感染状況をにらみながら、現在粛々と準備を進めております。

来月の運動会は、これまでとは趣向を凝らして実施する予定です。コロナ感染の拡大傾向がない限り、昨年同様検温にはご協力いただけますが、ご観覧いただく方々の制限は設けず実施したいと考えています。

また、七月九日には陸上自衛隊中部方面音楽隊が記念コンサートを開催してください。ことになりました。知事部局または政令指定都市単位で申し込みをしてもなかなかお越しいただけない方々ですが、このたびは大変運が良く開催できる運びとなりました。しかも、五十人編隊での楽曲演奏となります。

この日は、午前中参観日、懇談会、救急法講習会を行い、いったん帰宅し昼食をとっていただいた後、まなび広場大ホールにお集まりいただくこととなります。子ども達は授業日ですので、必ず参加ですが、是非保護者の皆様もご一緒にお楽しみいただきたいと思っております。当日の司会進行は六年生が行います。十月七日には、ここ体育館で記念式典を行います。式典では、式辞、来賓祝辞に引き続き、児童による本校の歴史に関する発表を行います。

その後、先程も申しましたが、森熊男先生の講演会を行います。この講演会は、大人対象の講演で、毎年行っております人権教育講演会もかねて実施しようと思っております。参観日と同じ扱いとして、保護者の皆様多数にご参加いただけますようお願いいたします。

お願い

昨今、皆様のお勤め先でも働き方改革は進んでおられることと思います。学校現場は、皆様の目にはどのように映っておられるでしょうか。県教育委員会から、本年度の目標として月45時間以上の時間外勤務をする教職員七口をめざすために、これから三年間で時間外在校時間を15%削減するよう指示がありました。

昨年度、本校の対象教職員24名のうち、月45時間以上時間外勤務をしている教職員は14名もおります。これは、年平均の値であり、年度当初や成績処理の月には実に20人もの教職員が80時間に迫る時間外勤務をしております。職員の中には、子育て真っ最中の者もおりますが、毎日の帰宅時刻が9時を過ぎる実態をご想像いただければ、家族に支えられなくては、勤務できない状況がご理解いただけると思います。

なぜ、このように遅くまで仕事があるのか。次の日の授業準備や、各種報告物の作成、会計など学級事務はもちろんですが、要因の一つとして、家庭への電話連絡があげられます。学校には電話回線が二回線しかありません。電話待ちをするための時間、お仕事から帰宅されるのを待つ連絡するまでの時間。こうした時間が時間外勤務を長くしています。本校と同規模の高梁小学校では夕方六時半から翌朝七時半までは留守番電話対応としておられます。本市には、そうした電話を設置していただけていないので、そのような対応はできませんが、今後六時半を電話終了のめどとして、家庭連絡をさせていただければと思っております。特にお子様が欠席されている場合は、その時間までに着信があると思っていたら、都合でお出になられなかった場合、折り返しお電話を戴けると幸いです。

学校だけがをして帰った際や友達とトラブルがあった際も連絡を差し上げています。放課後の電話対応につきまして、是非ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、本日お話ししました内容については、学校だよりに掲載、お届けしようと思っております。こうした全体会で直接お話しを聞いていただける方が、少しでも増えたいことを、愛児会役員とともに、心から願っております。
今年一年間、どうぞよろしくお願い致します。